



「和解の務め」音信

Ministry of Reconciliation in South Africa

(20-3)

Aug. 2020

金煥・朴貞玉

「神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました」(Ⅱコリント5:18)

1. 南アフリカの状況

南アフリカは今、冬です。アフリカの地で冬があるかと疑問を抱く方がいらつしやるかも知れませんが、南アフリカは南極に近い故に確かに冬が訪れます。高い山に雪が積もったり、町の貯水池が凍ったりします。ポチエフストロムの場合、6月下旬から8月上旬までが一番寒いと言われております。皆さまのお祈りとご支援のおかげで主の恵みの中、新型コロナウイルスの脅威にも拘わらず私たちは元気に過ごしております。

現在、ロックダウン・レベル3が6月1日からずっと続いております。お酒類とたばこ以外は販売可能となり、通常の交通も自由です。しかし州を跨ぐ行き来や旅行は特別な許可なしにはできません。そして50人以下の宗教集会、儀式は許されませんが、殆どの教会では自制して礼拝、祈祷会などを行っていません。学校も小学校最終学年(グレード7)、中等学校最終学年(グレード12)の希望者以外、

2. ミッション・ハウスの購入

は登校することができません。どこの国でも同じでしょうが、感染拡散防止と経済活性化の両立で悩んでいる政府の様子はつきりと見えております。

そのような状況のなかで一つ発展的なニュースをお伝えします。ポチエフストロムに移ってから、より広い規模の宣教センターの設置を推進してまいりましたが、世界的なパンデミックとロックダウンの故に、その取り組みを一時中断せざるを得ませんでした。その内に私たちが引越しをして入った家が売りに出されるのが分かり、購入できる道が開かれました。予めその情報を得ておりまして、不動産屋を通して話を進めている内に自分たちが考えているところまで値段が下がりました。その後の過程をここで全部説明することはできませんが、購入契約の後、ある有志の献金と、パウロ宣教会からの融資、そして数年間に渡る積立てなどを合わ

せて無事購入することができました。この間、ロックダウン・レベル5の状況となり改修工事ができなかつたり、建物の中の施設が棄損されたり、色々なハプニングもありましたが、無事、改修とすべての財務的、法律的な手続きを完了することができました。言うまでもなく、これは何よりも先ず主の恵みであり、また皆さまの尊いお祈りの応答だと信じます。ロックダウンが解除され次第、奉献礼拝を捧げるつもりです。

ミッション・ハウスの目的は、宣教師の住まいと共にアットホームな雰囲気の中での聖書研究、弟子訓練、小集会を開くことです。そして旅をする人々、特に伝道者のホームステイ提供も含まれております。厳しい現状の中で神の励ましとゴースインを頂いたような気がします。もう一度、お祈りとご支援をして下さった皆さまに厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。これからどうぞご加



ミッション・ハウスの側面



ミッション・ハウスの正面

